

作成日 2024 年 9 月 11 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号：

課題名：自己免疫性膵炎、膵癌およびその他の癌に関する国際多機関共同研究
AiPPEAR: a multicentric study on Autoimmune Pancreatitis, Pancreatic and
Extrapancreatic cAncerR

1. 研究の対象

2005 年 1 月～2023 年 8 月までに自己免疫性膵炎と診断され、2023 年 8 月までに当院に受診歴のある方

2. 研究期間

2024 年 11 月 (研究実施許可日) ～2025 年 9 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2025 年 1 月 1 日

提供開始予定日：2025 年 1 月 1 日

4. 研究目的

自己免疫性膵炎と診断された全患者における初発がんの発生率を明らかにすることです。診断後に発生した初発がんの標準化発生率比を、年齢および性別をマッチさせた一般集団の対照群と比較します。また、自己免疫性膵炎診断前12ヵ月以内のすべてのがん診断の有病率、がんの診断に関連する自己免疫性膵炎の特徴を検討します。

5. 研究方法

ドイツゲッティンゲン大学の Christoph Ammer-Herrmenau が研究代表者として実施する国際的な多機関共同後ろ向きコホート研究です。日本からは 26 の共同研究機関が参加予定であり、国内の参加施設の取りまとめを東北大学の正宗淳が研究代表者として行います。

2005 年 1 月から 2023 年 8 月までに自己免疫性膵炎と診断され、2023 年 8 月までに研究参加機関のいずれかに受診歴のある全患者を対象とします。すべてのデータは REDCap データベースに、仮名化の上、登録されます。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録に記載されている生年月、病歴、治療歴、検査結果データ 等

7. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は、個人が特定できないよう氏名等を削除し、電子的配信によりドイツ、スロベニア、デンマーク、エストニアの研究グループに提供されます。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

情報を提供する研究者は、データ移転契約に基づいて個人情報を取扱います。

ドイツ、スロベニア、デンマーク、エストニアにおける個人情報保護に関する制度については個人情報保護委員会の WEB ページをご覧ください。

(URL : <https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>)

また、提供先の研究機関においては、OECD プライバシーガイドラインを全て遵守してあなたのデータを取り扱うことを確認しています。

8. 研究組織

共同研究機関	所属部局	研究責任者
東北大学大学院医学系研究科	消化器病態学	正宗 淳
滋賀医科大学	消化器内科	稲富 理
慶応義塾大学医学部	消化器内科	岩崎 栄典
岐阜大学医学部附属病院	第 1 内科	岩下 拓司
奈良県立医科大学	消化器内科学講座	北川 洸
横浜市立大学附属病院	肝胆膵消化器病学 内視鏡センター	窪田 賢輔
北海道大学大学院医学研究院	消化器内科学教室	栗谷 将城
神戸大学大学院医学研究科	内科学講座	児玉 裕三
京都大学	消化器内科	塩川 雅広
福島県立医科大学医学部	消化器内科学講座	鈴木 玲
金沢大学	消化器内科	鷹取 元
東京大学医学部附属病院	消化器内科	高原 楠昊
札幌医科大学医学部	消化器内科学講座	仲瀬 裕志
藤田医科大学	消化器内科学講座	廣岡 芳樹
名古屋市立大学大学院医学研究科	消化器・代謝内科学	堀 寧

広島大学病院	消化器内科	岡 志郎
関西医科大学附属病院	消化器肝臓内科	池浦 司
信州大学医学部	内科学第二教室	中村 晃
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	石川卓哉
倉敷中央病院	消化器内科	上野 真行
三重大学医学部附属病院	消化器肝臓内科	山田 玲子
獨協医科大学病院	消化器内科	入澤 篤志
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	疫学・予防医学	田ノ上史郎
新潟大学大学院医歯学総合研究科	消化器内科学分野	寺井崇二
山口大学医学部	消化器内科学	高見太郎
高知大学医学部	消化器内科学	内田一茂

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は日本痔臓学会の研究費と厚生労働科学研究費補助金です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野
児玉裕三

住所 : 兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-1
連絡先 : 078-382-6305
gastro@med.kobe-u.ac.jp

当院の研究責任者 :
神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野 児玉裕三

研究代表者 :
東北大学大学院医学系研究科消化器病態学 正宗淳